

記者発表資料

地元中学生が一日事務所に就任します！

～全日本中学生水の作文コンクール受賞者を招き事務所の業務体験を行います～

宮崎河川国道事務所では、宮崎県立西高等学校附属中学校の^{かめおかちさと}亀岡千愛さんを招き、「一日事務所長」の体験を行っていただきます。

^{かめおかちさと}亀岡千愛さんは、「水の日」及び「水の週間」の行事の一環として次世代を担う中学生を対象とした「全日本中学生水の作文コンクール」において、県内唯一の受賞で、農林水産大臣賞（優秀賞）を受賞されました。

- 開催日時：令和元年7月25日（木）
9：20～10：00（委嘱状交付、事務所概要等の説明）
10：00～15：30（河川巡視及び事業箇所の視察）
- 場所：宮崎河川国道事務所（宮崎市大工2丁目39番地）
- 体験内容：事務所長として、現場巡視など、国土交通省の仕事を体験していただきます。

取材を希望される場合は前日12：00までに下記の問い合わせ先へ連絡願います。

※「全日本中学生水の作文コンクール」

主催：内閣官房水循環政策本部、国土交通省、都道府県

後援：文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、
水の週間実行委員会、独立行政法人水資源機構、全日本中学校長会

詳しくは、「水の日」「水の週間」についての国土交通省ホームページ（<http://www.mlit.go.jp/>）をご覧ください。

水の日

検索

発表記者クラブ

宮崎県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所

TEL:0985-24-8221（代表）

総括地域防災調整官：平原 由夫 調査第一課長：上水樽 昌幸



“水の惑星”と呼ばれる地球。でもその水は、無限ではありません。海から蒸発して雲になり、雨や雪と 雲 になって地上に降り、川から再び海へと循環しているのです。地球上をめぐると限られた水を、人々は身近な生活のほか、農業や工業など多くの場面で便利に使っています。その一方で、ときには洪水や水不足の被害に見舞われることもあります。水の恵みを利用し、災害を防ぐために、はるかな昔から現在まで、人々はさまざまな努力をしてきました。水とのつきあい方の工夫は、町おこしや観光のいたる所で目にするのができます。あなたにとって、水とはどんなものですか？暮らしのなかでの体験や、授業で学んだことや調べたことについて、あなたの考えを作文にまとめてみましょう。

メインテーマ

水について考える
(個別の題名は自由)

原稿(記載要領)

- ① 400字詰原稿用紙4枚以内、日本語で記入された個人作品
- ② 本文の前(原稿用紙枠内)に題名、学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記

※ 最優秀賞及び優秀賞の受賞者を8月上旬に表彰式に招待し、賞状等を授与します。第40回は全国から14,151編が寄せられました。

応募締め切り

提出先(問い合わせ先)

入賞発表

2019年7月中旬頃

表彰(予定)

○ 内閣総理大臣賞(最優秀賞).....	1編
○ 厚生労働大臣賞(優秀賞).....	1編
○ 農林水産大臣賞(優秀賞).....	1編
○ 経済産業大臣賞(優秀賞).....	1編
○ 国土交通大臣賞(優秀賞).....	1編
○ 環境大臣賞(優秀賞).....	1編
○ 水の週間実行委員会会長賞(優秀賞).....	1編
○ (独)水資源機構理事長賞(優秀賞).....	1編
○ 全日本中学校長協会会長賞(優秀賞).....	1編
○ 全日本中学生水の作文コンクール 中央審査会特別賞(優秀賞)(必要に応じて).....	1編
○ 入選.....	約30編
○ 佳作.....	約100編

